

「地域福祉懇談会」結果報告書

目 次

1	「地域福祉懇談会」の概要について	P 1
2	「地域福祉懇談会」意見等集計表（総括）	P 3
3	「地域福祉懇談会」意見等集計表（地区別）	P 4
4	「地域福祉懇談会」結果報告書	
(1)	平地区（第1班）	P 11
(2)	平地区（第2班）	P 13
(3)	平地区（第3班）	P 15
(4)	小名浜地区（第1班）	P 17
(5)	小名浜地区（第2班）	P 19
(6)	小名浜地区（第3班）	P 21
(7)	勿来地区	P 23
(8)	常磐地区	P 25
(9)	内郷地区（第1班）	P 27
(10)	内郷地区（第2班）	P 29
(11)	四倉地区	P 31
(12)	遠野地区	P 33
(13)	小川地区（第1班）	P 35
(14)	小川地区（第2班）	P 37
(15)	好間地区	P 39
(16)	三和地区	P 41
(17)	田人地区	P 43
(18)	川前地区	P 45
(19)	久之浜大久地区	P 47

「地域福祉懇談会」の概要について

1 懇談会の目的

◆ 地域福祉計画の策定にあたり、

〔目的1〕 地区の住民がそれぞれ抱える身近な生活上の課題や福祉に関する課題等を抽出する。

〔目的2〕 課題の解決のために、住民個人、地域、行政のそれぞれが「何ができるのか、何をすればいいのか」といった役割分担の考え方について話し合う。

- ① 個人が出来ること (個人の役割＝「自助」)
- ② 地域が出来ること (地域の役割＝「共助」)
- ③ 行政にしか出来ないこと (行政の役割＝「公助」)

〔目的3〕 懇談会を通じて、住民の地域福祉への意識醸成を図る。

◆ また、懇談会の結果については、事務局で集約のうえ、再度、参加者に配布して意見等を求める(フイードバック)など、「協働」で策定事務を進める。

◆ 懇談会で出された意見等を踏まえ、本市の地域福祉推進の基本方針や施策の方向性等をまとめる。

また、意見については、その概要を地域福祉計画に掲載するとともに、必要に応じて庁内関係課等に参考送付する。

2 開催内容

(1) 開催期日及び開催場所等：

開催期日	開催地区	開催場所
① 7月31日(月) 14:00～16:30	四倉・久之浜大久地区	四倉公民館 (講義室・会議室(2))
② 8月2日(水) 14:00～16:30	勿来・田人地区	勿来支所 (3階会議室)
③ 8月3日(木) 14:00～16:30	小川・川前地区	小川公民館 (講堂)
④ 8月4日(金) 14:30～17:00	常磐・遠野地区	常磐公民館 (第1会議室)
⑤ 8月7日(月) 14:00～16:30	小名浜地区	小名浜公民館 (会議室)
⑥ 8月9日(水) 14:00～16:30	平地区	文化センター (2階大会議室(1)・(2))
⑦ 8月10日(木) 14:00～16:30	内郷・好間・三和地区	総合保健福祉センター (多目的ホール)

懇談会は、地区保健福祉センターの所管区域ごとに開催した。

なお、複数の行政区域を所管する地区保健福祉センターにおいては、各行政区ごとに検討グループを設置した。(構成：7地区保健福祉センター13地区19班)

(2) 参集者：

- i) 市社会福祉協議会が13地区協議会に置く「福祉推進委員」(※)
- ii) 一般市民

●「福祉推進委員」について

【委員の趣旨】

社協の地区協議会が行う「社会福祉に関する調査研究」、「地域福祉に関する実施計画の確立と実践」などに関する事業を推進する役割を担う。

【委員の主な構成】

- ・ 民生児童委員
- ・ 行政嘱託員
- ・ 福祉施設
- ・ 福祉団体
- ・ 地域団体
- ・ 保健、医療関係
- ・ 教育関係
- ・ ボランティア
- ・ 学識経験者

【福祉推進委員の数】

地区名	人数	備考(各地区とも福祉推進委員の数)
①平	40人	
②小名浜	39人	
③勿来・田人	30人	・勿来：40人 ・田人：34人
④常磐・遠野	30人	・常磐：30人 ・遠野：31人
⑤内郷・好間・三和	45人	・内郷：31人 ・好間：35人 ・三和：29人
⑥四倉・久之浜大久	30人	・四倉：35人 ・久之浜大久：30人
⑦小川・川前	30人	・小川：30人 ・川前：29人

幹事

※ 複数地区を同時に開催する場合(③～⑦)については、福祉推進委員の中から選任される「幹事」(各地区とも15人)により開催する。

(3) 懇談会における検討手法：

懇談会は、参加者を支所単位の地区を基本に10名程度の班に分けて、模造紙やカード(付箋)を使いながら作業・話し合いを行う「ワークショップ形式(ブレインストーミング法)」により行う。

【検討手順】

- ① 参加者は、身近な地域での生活を振り返り、住民がそれぞれ抱える生活上の課題や福祉に関する課題などをカードに記入する。
- ② 記入したカードを課題分野別に分類しながら模造紙に貼り付け、必要に応じて修正したり、まとめたリしながら意見交換等を行う。
- ③ 出された課題を解決するために、「住民個人」、「地域」、「行政」がそれぞれの立場から「何ができるのか、何をすればよいのか」をカードに記入する。
- ④ 記入したカードを分類しながら模造紙に貼り付け、必要に応じて修正したり、まとめたリしながら意見交換等を行う。
- ⑤ 話し合いの結果を整理し、班ごとに発表する。

いわき市地域福祉計画策定に向けた
『地域福祉懇談会』意見等集計表（総括）

地区名	班名	参加者数	生活課題	課題解決の方法				
				個人	地域	行政		
1 平地区	平地区(1)	9人	23件	27件	8件	16件	3件	
	平地区(2)	10人	22件	32件	12件	10件	10件	
	平地区(3)	9人	23件	38件	15件	15件	8件	
	計（3班）	28人	68件	97件	35件	41件	21件	
2 小名浜地区	小名浜地区(1)	11人	21件	40件	17件	13件	10件	
	小名浜地区(2)	9人	18件	29件	11件	12件	6件	
	小名浜地区(3)	11人	24件	35件	17件	8件	10件	
	計（3班）	31人	63件	104件	45件	33件	26件	
	3 勿来地区	計（1班）	15人	37件	38件	13件	13件	12件
	4 常磐地区	計（1班）	13人	36件	44件	15件	18件	11件
5 内郷地区	内郷地区(1)	11人	38件	46件	16件	14件	16件	
	内郷地区(2)	10人	19件	29件	9件	9件	11件	
	計（2班）	21人	57件	75件	25件	23件	27件	
6 四倉地区	計（1班）	14人	25件	55件	20件	21件	14件	
7 遠野地区	計（1班）	11人	37件	47件	18件	17件	12件	
	小川地区(1)	8人	12件	20件	11件	8件	1件	
	小川地区(2)	9人	25件	52件	16件	21件	15件	
	計（2班）	17人	37件	72件	27件	29件	16件	
9 好間地区	計（1班）	9人	29件	29件	15件	9件	5件	
10 三和地区	計（1班）	9人	28件	40件	17件	13件	10件	
11 田人地区	計（1班）	12人	19件	30件	8件	14件	8件	
12 川前地区	計（1班）	11人	29件	44件	14件	12件	18件	
13 久之浜大久地区	計（1班）	11人	18件	30件	7件	13件	10件	
合計	(19班)	202人	483件	705件	259件	256件	190件	

※ 参加者数には、各班とも3人の運営スタッフを含む。

『地域福祉懇談会』意見等集計表 (地区別)

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
平地区(1)	高齢者	7 件	6 件	2 件	3 件	1 件
	障がい者	1 件	6 件	1 件	4 件	1 件
	子ども(学校)	5 件	3 件	1 件	1 件	1 件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	2 件	5 件	1 件	4 件	件
	防災・防犯	1 件	1 件	件	1 件	件
	環境	5 件	4 件	3 件	1 件	件
	その他	2 件	2 件	件	2 件	件
		23 件	27 件	8 件	16 件	3 件
	9 人					

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
平地区(2)	高齢者	5 件	9 件	5 件	件	4 件
	障がい者	件	件	件	件	件
	子ども(学校)	4 件	6 件	1 件	4 件	1 件
	健康	2 件	5 件	3 件	件	2 件
	自治会・町内会 地域活動	1 件	2 件	件	2 件	件
	防災・防犯	3 件	2 件	件	2 件	件
	環境	3 件	4 件	1 件	1 件	2 件
	その他	4 件	4 件	2 件	1 件	1 件
		22 件	32 件	12 件	10 件	10 件
	10 人					

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
平地区(3)	高齢者	4 件	7 件	3 件	2 件	2 件
	障がい者	4 件	6 件	3 件	1 件	2 件
	子ども(学校)	2 件	9 件	3 件	4 件	2 件
	健康	1 件	5 件	3 件	1 件	1 件
	自治会・町内会 地域活動	2 件	3 件	1 件	2 件	件
	防災・防犯	1 件	2 件	1 件	1 件	件
	環境	3 件	4 件	件	4 件	件
	その他	6 件	2 件	1 件	件	1 件
		23 件	38 件	15 件	15 件	8 件
	9 人					

『地域福祉懇談会』意見等集計表（地区別）

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
小名浜地区(1)	高齢者	5 件	7 件	4 件	2 件	1 件
	障がい者	2 件	2 件	1 件	1 件	1 件
	子ども(学校)	4 件	6 件	2 件	3 件	1 件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	2 件	4 件	1 件	2 件	1 件
	防災・防犯	3 件	9 件	5 件	3 件	1 件
	環境	4 件	10 件	4 件	3 件	3 件
	その他	1 件	2 件	件	件	2 件
		21 件	40 件	17 件	13 件	10 件
	11 人					

班 名	分 野	生活課題	課題解決の方法			
			個 人	地 域	行 政	
小名浜地区(2)	高齢者	4 件	14 件	7 件	6 件	1 件
	障がい者	1 件	件	件	件	件
	子ども(学校)	4 件	6 件	2 件	3 件	1 件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	4 件	1 件	件	1 件	件
	防災・防犯	1 件	4 件	1 件	1 件	2 件
	環境	4 件	4 件	1 件	1 件	2 件
	その他	件	件	件	件	件
		18 件	29 件	11 件	12 件	6 件
	9 人					

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
小名浜地区(3)	高齢者	7 件	11 件	6 件	3 件	2 件
	障がい者	2 件	6 件	2 件	2 件	2 件
	子ども(学校)	1 件	4 件	1 件	1 件	3 件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	7 件	4 件	4 件	1 件	件
	防災・防犯	件	件	件	件	件
	環境	3 件	6 件	1 件	3 件	2 件
	その他	4 件	4 件	3 件	1 件	1 件
		24 件	35 件	17 件	8 件	10 件
	11 人					

『地域福祉懇談会』意見等集計表（地区別）

班 名	分 野	生活課題	課題解決の方法			
			個 人	地 域	行 政	
勿来地区	高齢者	7件	10件	6件	3件	1件
	障がい者	1件	1件	1件	1件	1件
	子ども(学校)	7件	13件	4件	5件	4件
	健康	2件	2件	1件	1件	1件
	自治会・町内会 地域活動	6件	6件	1件	3件	2件
	防災・防犯	2件	1件	1件	1件	1件
	環境	10件	3件	1件	1件	1件
	その他	2件	2件	1件	1件	2件
			37件	38件	13件	13件
15人						

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
常磐地区	高齢者	8件	10件	3件	4件	3件
	障がい者	2件	2件	1件	1件	2件
	子ども(学校)	5件	3件	1件	2件	1件
	健康	3件	5件	3件	2件	1件
	自治会・町内会 地域活動	6件	8件	2件	4件	2件
	防災・防犯	2件	5件	2件	2件	1件
	環境	2件	4件	4件	1件	1件
	その他	8件	7件	1件	4件	3件
		36件	44件	15件	18件	11件
	13人					

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
内郷地区(1)	高齢者	11件	13件	5件	3件	5件
	障がい者	2件	4件	2件	1件	1件
	子ども(学校)	5件	3件	1件	2件	1件
	健康	1件	1件	1件	1件	1件
	自治会・町内会 地域活動	7件	11件	4件	6件	1件
	防災・防犯	3件	3件	1件	1件	3件
	環境	6件	7件	3件	1件	3件
	その他	3件	5件	1件	1件	3件
		38件	46件	16件	14件	16件
11人						

『地域福祉懇談会』意見等集計表（地区別）

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
内郷地区(2)	高齢者	4件	5件	3件	2件	件
	障がい者	件	件	件	件	件
	子ども(学校)	件	件	件	件	件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	5件	8件	1件	5件	2件
	防災・防犯	1件	4件	1件	1件	3件
	環境	7件	9件	4件	1件	4件
	その他	2件	3件	1件	件	2件
		19件	29件	9件	9件	14件
	10人					

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
四倉地区	高齢者	5件	13件	4件	6件	3件
	障がい者	1件	4件	1件	2件	1件
	子ども(学校)	2件	5件	2件	2件	1件
	健康	2件	8件	4件	2件	2件
	自治会・町内会 地域活動	5件	6件	3件	2件	1件
	防災・防犯	5件	7件	4件	2件	1件
	環境	4件	9件	1件	4件	4件
	その他	1件	3件	1件	1件	1件
		25件	55件	20件	21件	14件
	14人					

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
遠野地区	高齢者	14件	16件	11件	2件	3件
	障がい者	件	件	件	件	件
	子ども(学校)	4件	7件	1件	5件	1件
	健康	2件	4件	2件	1件	1件
	自治会・町内会 地域活動	2件	2件	件	2件	件
	防災・防犯	4件	8件	2件	3件	3件
	環境	7件	8件	2件	4件	2件
	その他	4件	2件	件	件	2件
		37件	47件	18件	17件	12件
	11人					

『地域福祉懇談会』意見等集計表（地区別）

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
小川地区(1)	高齢者	2 件	7 件	3 件	3 件	1 件
	障がい者	件	件	件	件	件
	子ども(学校)	2 件	3 件	2 件	1 件	件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	件	件	件	件	件
	防災・防犯	1 件	件	件	件	件
	環境	4 件	8 件	4 件	4 件	件
	その他	3 件	2 件	2 件	件	件
8 人	12 件	20 件	11 件	8 件	11 件	

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
小川地区(2)	高齢者	3 件	12 件	6 件	4 件	2 件
	障がい者	2 件	6 件	2 件	2 件	2 件
	子ども(学校)	4 件	8 件	2 件	4 件	2 件
	健康	2 件	4 件	2 件	1 件	1 件
	自治会・町内会 地域活動	3 件	8 件	件	7 件	1 件
	防災・防犯	2 件	3 件	1 件	件	2 件
	環境	6 件	9 件	3 件	1 件	5 件
	その他	3 件	2 件	件	2 件	件
9 人	25 件	52 件	16 件	21 件	15 件	

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
好間地区	高齢者	6 件	8 件	4 件	3 件	1 件
	障がい者	件	件	件	件	件
	子ども(学校)	6 件	6 件	3 件	1 件	2 件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	3 件	5 件	2 件	3 件	件
	防災・防犯	4 件	3 件	2 件	件	1 件
	環境	9 件	3 件	1 件	1 件	1 件
	その他	1 件	4 件	3 件	1 件	件
9 人	29 件	29 件	15 件	9 件	5 件	

『地域福祉懇談会』意見等集計表（地区別）

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
三和地区	高齢者	7 件	9 件	3 件	4 件	2 件
	障がい者	2 件	4 件	2 件	2 件	件
	子ども(学校)	5 件	7 件	3 件	2 件	2 件
	健康	3 件	4 件	3 件	件	1 件
	自治会・町内会 地域活動	1 件	2 件	1 件	1 件	件
	防災・防犯	1 件	1 件	件	件	1 件
	環境	7 件	10 件	3 件	4 件	3 件
	その他	2 件	3 件	2 件	件	1 件
9 人	28 件	40 件	17 件	19 件	10 件	

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
田人地区	高齢者	3 件	9 件	3 件	4 件	2 件
	障がい者	件	件	件	件	件
	子ども(学校)	4 件	7 件	1 件	3 件	3 件
	健康	件	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	5 件	4 件	1 件	3 件	件
	防災・防犯	件	件	件	件	件
	環境	2 件	7 件	2 件	3 件	2 件
	その他	5 件	3 件	1 件	1 件	1 件
12 人	19 件	30 件	8 件	14 件	8 件	

班 名	生活課題	課題解決の方法				
		個 人	地 域	行 政		
川前地区	高齢者	7 件	12 件	6 件	5 件	1 件
	障がい者	1 件	1 件	件	1 件	件
	子ども(学校)	7 件	4 件	件	1 件	3 件
	健康	2 件	3 件	2 件	件	1 件
	自治会・町内会 地域活動	2 件	5 件	1 件	2 件	2 件
	防災・防犯	2 件	6 件	1 件	1 件	4 件
	環境	1 件	4 件	3 件	1 件	件
	その他	7 件	9 件	1 件	1 件	7 件
11 人	29 件	44 件	14 件	12 件	18 件	

『地域福祉懇談会』意見等集計表（地区別）

班 名	生活課題	課題解決の方法			
		個 人	地 域	行 政	
久之浜大久地区	高齢者	3 件	1 件	1 件	1 件
	障がい者	3 件	6 件	2 件	1 件
	子ども(学校)	2 件	3 件	1 件	1 件
	健康	件	件	件	件
	自治会・町内会 地域活動	2 件	7 件	1 件	5 件
	防災・防犯	3 件	4 件	件	1 件
	環境	5 件	9 件	3 件	4 件
	その他	件	件	件	件
		18 件	30 件	7 件	13 件
	11 人				10 件

班 名	生活課題	課題解決の方法			
		個 人	地 域	行 政	
合 計	高齢者	112 件	179 件	84 件	60 件
	障がい者	24 件	48 件	16 件	16 件
	子ども(学校)	73 件	103 件	31 件	44 件
	健康	20 件	40 件	23 件	7 件
	自治会・町内会 地域活動	65 件	91 件	24 件	54 件
	防災・防犯	39 件	63 件	19 件	19 件
	環境	92 件	122 件	44 件	42 件
	その他	58 件	59 件	18 件	14 件
		488 件	705 件	259 件	256 件
	202 人				190 件

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

進行役：奥山 直明

補助員：安井 淳

記録員：星 美貴

(1)開催日：平成18年8月9日(水)

(2)地区名：平地区(第1班)

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者への生活支援が十分ではない。 女性の独居高齢者に対するいじめがあるのが生活苦による高齢者の犯罪が増えているのが心配。 高齢者にとって住みづらい街になっていて、高齢者を見守る(安否確認をする)人がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 気になることがあれば、行政や関係機関に情報提供する。 訪問活動(声かけ)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生きる意欲を引き出すため、気軽に話し合いのできるサロンづくりを進める。 老人会等への参加を促す。 近隣で協力しあい見守り活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等との連携強化。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の地域生活支援が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 優しさと思いやりを持って接する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での生活支援には慎重を要するが、優しさと思いやりを持って支援策を検討する。 近隣住民や民生委員の訪問活動が必要。 福祉に対する地域住民への意識高揚を図る。 隣組組織を利用して、小さなことから協力をしていく。 地域で問題点を明確にし、解決策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政が問題解決を行う際、経済負担が伴う場合は公的保障を明確にする。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない。 児童・生徒のいじめに教師が気付かないことがある。 学校、家庭での子どもに対する教育が希薄になっている。 子どもの非行が増加している傾向にあることが心配。 あいさつしない子どもが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が積極的にいじめ問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で問題点を明確にし、解決策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師よりも保護者への関わりを強める。
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にし出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の隣組への加入率が低下している。 隣近所の付き合いが希薄になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会から具体的な説明をし、加入を呼びかける。 現在の自治会、町内会には会費納入が主体となっているので、話し合いの場を日頃から地域内での交流の強化に努める。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯(街路灯)が少なく、犯罪が起きないか心配。 		<ul style="list-style-type: none"> 区長に防犯灯の設置を要望する。 	
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の騒音等がひどく、快適な睡眠がとれない。 川が汚れている。 ゴミ出しまナーの悪い人がいる。 地域の過疎化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間、バイクに乗るときは静かに乗る。 酒を飲んでも大声を出さない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域でゴミ出しのルールを検討する。 	
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員の地域でのあり方がはっきりしない。 社会福祉協議会は、民間社会福祉団体の先導役として強力がなりだーディングをとってほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員が積極的に地域で話し合いの場をもつ。 民生委員も地域の行事に積極的に参加する。 	

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月9日(水)

(2)地区名：平地区(第2班)

進行役：工藤 慎也
 補助員：辻村 一義
 記録員：渡邊那保美

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかな出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 80歳の独居老人が一人住みだが、アパートが近く取り壊されると聞いて非常に不安だ。 高齢者が集会所まで出かけることが困難である。 介護が必要な高齢者が増加している。 一人暮らしの高齢者の見守りができない。 足が弱ってきたので横断するのに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ話をきいてあげ、出来ることがあれば協力する。そういう機関に連絡する等仲介の役をする。 隣組の組織に積極的に関わってもらう。 訪問活動をする。把握し、お互い気にかけて生活する。 		<ul style="list-style-type: none"> 老人が入所できる施設をできるだけ多く整えてもらう。 信号の時間の長さを考慮してもらう。(横断に時間がかかるので。) 福祉サービスの実態、情報、相談窓口を分かりやすく掲示する。 地域に密着した福祉の実現。
2 障がい者				
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 児童、生徒の安全確保が必要だ。 地元地区の保育所に入所できない。(保育所の入所は、地域性を考えるべきだ。) 学校教育と社会教育の連携が必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人所有の車に「地区内巡回中」の表示板を設置し、防犯上の抑止力を働かせる。 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> (企業にも協力を依頼する。)子ども会、町内会行事に世代を越えた交流を増やす。(コミュニケーションの強化) 見守り隊等は個人でやることは難しいので、地域の中に協力体制を作る。コミュニティの中で親と子どもを含めたコミュニケーションをとれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域内に大人の目が行き届く環境や人的配備をする。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 角膜(眼)、臓器提供等は、現実問題としては難しい。 食生活の見直しが必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活をする。 3食きちんと摂取。 栄養のバランスを考えた献立を考える。 		<ul style="list-style-type: none"> メタボリックシンドロームを話題にする。予防のため、地域に健康増進の機会を備える。(モデル地域を作る。)

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や活動には、決まった人しか参加しない。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や活動への参加を呼びかける。(大人も子どもも互いに理解し合う場) 自宅での「茶のみ会」などで触れ合いを持っていく。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ニュータウンの幹線道路脇の歩道は街灯がないため非常に危険だ。 駅周辺の掃帚と清掃が必要だ。(非行防止の為) 通学路が寂しいところだ。 		<ul style="list-style-type: none"> 一戸一灯運動で防犯防止。 一声運動の増進。 	
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> バスが近く施設利用者の家族が来所するのに不便である。(夏休み時期などはバスの本数が減るので特に不便) 河川、公園等のごみ、汚れが多い。 独居老人が安心して生活できない。(階下に引越して来た男性に水を流す音がうるさいと言われるので安心して風呂にも入れない。) 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活環境の浄化に努める。(リサイクル活動、奉仕作業) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で環境整備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> バス、公共交通システムの開発。 市営バスの運営を考える。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護を保護しすぎている。 災害時の老人(一人暮らし)の見守りが必要だ。 家庭が崩壊している。 集合住宅が建ち過ぎているため、相手への配慮が欠けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の安定、維持に努める。(各家庭の生活が基本となる。) 子どもの部屋はなるべく作らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で隣人の見守りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭環境の把握をする。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月9日(水)
 (2)地区名：平地区(第3班)

進行役：鈴木 文雄
 補助員：渡邊 香織
 記録員：渡邊 晃也

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が近くに出かける所がない。(坂道が多いので時間がかかると。楽しめる場所や近所にも嫁さんに気兼ねして行けなくなる。) 高齢者が運動する施設・場所が近くにない。 足腰痛で移動を誰かに頼らなくては行けない。 一人暮らし高齢者への配食サービスや食事内容を配慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロンの活用(学童保育、障害者も一緒に)。 音段から挨拶をして顔見知りとなる。 興味のあるサークル等を探してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内で「ふれあい会」などの集まりを開催する。 老人会の活動を活発にして誰にでも参加しやすい活動にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の体育館の活用。 総合型スポーツクラブの育成。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 知的障がいのある人の地域での楽しみ(サークル活動参加等)が少ない。 精神に異常をもった方の隣人たちが迷惑している(どこに相談しても解決できない)。 障がい者が地域で生活するにはお金が足りない。 知的障がいのある人が地域で知り合いがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム、スポーツ、音楽等の技術の習得により交流。 サークル活動メンバーの訪問。 精神障がいについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ボラnteイアグループでその地元で受け皿を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がいに対する医学的知識を広める。 直接的、間接的な経済的支援制度。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 子供が公園で遊べない。(雑草が多くて汚れている。危険、不審者がいる。) 学童保育の場所を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人で公園の草取り・子供の見守りを行う地域活動に積極的に参加する。 ボラnteイアで子供の世話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園を区内会、子ども会など協力し合って定期的に除草作業を行う。 自治会行事として区民検出で除草作業を行う。そうじ隊をつくる。(アダプト制度) 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具等の点検をし、安全の確保を図る。 子供が少なくても必要な人がいるところに学童保育の場所を提供してほしい。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ行事の中で、市の保健師さんの講演・指導を受けたい(例・日帰り温泉入浴に派遣してもらいたい)。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方たちと一緒に前講座を申し込む。 老人クラブの人たちと協力して出前講座に申し込む。 出前講座、福祉レクレーションの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で専門知識を持った人を発掘し協力してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座など積極的にPRし、浸透させる。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、 町内会、 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 地区民の集合場所がない。 地域コミュニティがなくなってきた。 (自分がよければ「それでいい」という風潮が強い) 	<ul style="list-style-type: none"> まず、自分の家を開放して、客を受け入れる喫茶店の利用。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区公民館(集会所)等の活用。 自治会活動を活発にし、共助の喜びを持つようにする。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 夜道で女性がS.O.S.の声を上げて誰も出てこない。(隣近所の無関心、地区の国際化) 	<ul style="list-style-type: none"> 各戸でセンサーライトをつけることにより多少なりとも効果があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区防犯組織のようなものを作り、地域で啓発を行う。 	
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出しのマナーが悪すぎる。(ゴミ出しの日が分かりにくい。) 夏井川土手沿いにゴミが捨てられている。(自分さえ良ければよいの風潮) 平の鉄北地区の道路が狭い。(側溝工事、電柱埋設が必要) 		<ul style="list-style-type: none"> 「町をきれいにし隊」をつくる(大人も子供も一緒に) 地域美化活動的な運動を地域で行う。 地区の方達が協力してたまには、ゴミの収集場所についてみる。 ゴミ分別やマナーを自治会を通じて強かに進める。 	
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭が近所、地域に溶け込めない。(隣組等助け合いが必要) 青年が結婚したいが出来ない。少子化。(不安定な収入、コミュニティに対する支障の方法) ひとり親世帯の生活苦に対する支援の方法(生活上自動車は絶対必要であるが車を持っているため生活保護を受けられない。) ひとり親家庭への職場の理解が得られない。(就労条件を良くしてほしい) ひとり親家庭で子供とふれ合う時間が取れない。 D.V.あるいはこれに近い状況があっても介入するのが難しい。(学校等と協力して情報入手に努めている) 	<ul style="list-style-type: none"> 地区活動に積極的に参加する。 		<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に合った支援がほしい。(決まりごとには縛られない柔軟な対応)

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月7日(月)

(2)地区名：小名浜地区(第1班)

進行役：渡邊 晃也
 補助員：平子 洋一
 記録員：坂本 康子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかな出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居高齢者が多い。 ・ アパートの2階等に住んでいる高齢者のゴミ処理が心配。 ・ 高齢者の交通手段が少ない。(バス路線の減少) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員で出来ることがあれば協力したい。 ・ 規則正しい食生活と適度な運動で、いつまでも健康でいられるようにする。 ・ 若い健康者に代業になってもらい取りまどめて集積所に持って行くようにする。 ・ 明日は我が身という気持ちで接すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年ボランティア(中・高校等)による高齢者宅の清掃・庭草取り等。 ・ 団地内有志者で、高齢者の自家用送迎をしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居高齢者名簿を作成し各関係機関に周知する。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の方が困った時に適切な対応が出来ない場合が多い。(障がいの内容によって色々対応も変わるので…) ・ 車イス生活で日中一人の時が心配。(ドロボーに入られたこともある) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできる範囲のお手伝いをしてあげる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者に優しいまちづくり(道路、公共施設等のバリアフリー整備)に努める。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもに対する犯罪が多いので登下校時が心配。 ・ 子どもが周囲に迷惑をかけても親が子どもに注意することが出来ない。 ・ 放課後、子どもが安全に安心して過ごせる場所が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアとして大人が世話をする。(子どもの居場所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども見守り隊の活動を強化する。 ・ よその子どもにも個人での関与は困難なので、地域でかかわっていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後、子どもたちが安全に過ごせる場所を、増設計画を立て設置していく。
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	隣組に入らない住民が多い。(清掃活動等、隣組の活動に悪影響が出ている。)	<ul style="list-style-type: none"> 地域での活動等への参加について声かけする。 	<ul style="list-style-type: none"> サークル活動等への参加について呼びかける。役員を中心に複数の委員による家庭訪問と勧誘。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政による文書勧誘。場合によっては訪問も行政で行ってもらう。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪を事前に防ぐ体制作りが必要。 高齢者等に対する悪徳商法(リホーム・高額商品)が心配。 救急車・消防車等の出入りが困難なところに住んでいる人が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のみの世帯だと分からないように、子ども服などを干す。 男物の靴を玄関に置く。 表札を独居でなく同居に。 不審者を見かけたら、近所の人に知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所で不審者の情報を共有できるようにする。 近所・知り合いによる声かけ。 老人会で散歩しながら区内をパトロールしてもらう。(腕章を着用・東署で貸与している。) 	<ul style="list-style-type: none"> 警察との連携を図る。を重点的にパトロールする)
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> ゴミだしまナーが悪い人がいる。 ゴミの不法投棄。 ゴミのポイ捨てが目立つ。 犬の糞の始末をしない飼い主がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミのポイ捨てはしない。 犬の糞のしまっは飼い主にマナーを守ってもらうよう声をかける。 落ちていたゴミは捨てるようにする。 ゴミ出しマナーの悪い人に声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 放置ゴミの清掃。(月一回程度) ゴミ捨て禁止の啓発活動を実施する。 ゴミ清掃ボランティア活動への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ捨て禁止の啓発活動。 ゴミ清掃のボランティア活動への支援。 不法投棄の監視員の増員。 不法投棄の罰則を強化する。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 古紙回収を子ども会の事業としてやっていたことが困難になった。(市の補助金の廃止・業者による玄関回収等による。) 			<ul style="list-style-type: none"> 資源の有効活用をする為、補助金制度を復活させるべき。 古紙回収は市が条例を施行し、一般業者の回収を禁止すべき。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月7日(月)

(2)地区名：小名浜地区(第2班)

進行役：鈴木 雅輝
 補助員：小林 哲子
 記録員：大場 健史

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかな出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもりが多い。 ・高齢者が多いため、防災活動(訓練)がしにくい。 ・認知症の高齢者が増え、介護疲れで体調を崩す人が多い。 ・高齢者の家庭内外での居場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者を訪問して話を聞いてあげる。 ・区長として独自に文書を作成し回覧している。 ・個々の意識を高める。 ・趣味をたくさん持つ。 ・家族が認知症等で介護、見守りが必要になったら隠さず隣近所に協力を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内で集会等を開き生きがいづくりをする。 ・集会等で一人暮らしの方に対する声かけ運動を進めている。 ・高齢者の介護は地域で協力して行う(特に隣人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多い地区の防災活動は行政が対策を考える。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の経済的負担が重くなっている。 			
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の数が減り、お祭りで神輿を担すことができなかった。 ・子供のしつけができていない。 ・子供が外で遊ばない。 ・子育てに悩んでいる親が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に協力する。 ・人数が少ないので、孫達を呼んで祭りに参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区が一緒であれば子ども会を統合できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA会のあり方について検討する。
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
5 自治会、 町内会、 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 隣組の組織が崩れてきている。 地区の共同作業にアパート住民が参加しない。 若い人が少なくなってきた。 隣人間の関係が希薄化している。 		<ul style="list-style-type: none"> 従来の隣組形式ではなく、自主参加のボランテニア制にして出来るときに参加する形にする。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の街灯が街路樹に遮られて暗い。 	<ul style="list-style-type: none"> 門灯を夜10時までつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の維持費を基金しているが、その中から新設する費用をだす。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯は行政に申請すれば取り付けることができる(維持費は自治会が負担)。 街路樹が邪魔であれば、市で剪定してもらえ。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> ゴミが各地に散乱している。 海に燃えないゴミが投棄されている。 正しく分別していないため収集車が収集しないゴミが放置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄のゴミを時々拾って分別して捨てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで清掃活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集しないゴミ、不法投棄されたゴミは最終的に行政で対応する。
8 その他				

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月7日(月)

(2)地区名：小名浜地区(第3班)

進行役：渡邊 那保美
 補助員：酒井 裕枝
 記録員：奥山 直明

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかな出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の世帯状況、生活状況がわからない。 ・女性が外で働くことにより、家庭内の介護力が低下している。 ・高齢者と息子といった世帯の生活力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけて各世帯を回る。 ・地域情報の収集に努める。 ・男女を問わず介護に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で情報の収集をする(居住者情報の記入をお願いする)。 ・区長と民生委員で連携をとる(お互いの情報の共有)。 ・安い料金で介護を頼めるようなボランティア施設を地域に作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成・支援。卒業生の市の「ふれあい・ふくし塾」の協力を得るための支援。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の情報がわからない。 ・知的、精神障がい者が日常生活に困っている(援助が必要な障がい者がいる)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけて各世帯を回る。 ・地域情報の収集に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で情報の収集をする(居住者情報の記入をお願いする)。 ・区長と民生委員で連携をとる(お互いの情報の共有)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成・支援。卒業生の市の「ふれあい・ふくし塾」の協力を得るための支援。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が働くことで子供の教育がおろそかになったり学力が低下する場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事には母親だけでなく父親も参加し教育に携わる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成・支援。卒業生の市の「ふれあい・ふくし塾」の協力を得るための支援。 ・学童保育の設立援助をする。
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の世帯状況がわからない。 隣組の役員を引き受けられない人がいる。 若い人が隣組に入らない。未加入の人がいる。 区や子ども会の行事に参加しない人がいる。 若年層の町内居住者が少ない(地域行事の遂行に支障が出ている)。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつを心がけ、コミュニケーションをとる。 自分の隣の家だけでも何かとかかわりをもつ(旅行に行ったらお土産を買ってくるなど)。 「向こう3軒両隣」の精神を再認識する。 		
6 防災・防犯				
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 土地柄、道路がわかりにくく迷ってしまう。 ごみの分別・指定日を無視して出す人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 道を聞かれたら親切に教えてあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとに道際マツプ(看板)を作り、目につく所に立てる。全員が割り当てるように順番を各人が責任を持てるように体制づくり(意識改革)をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別基準の簡素化をする(ペットボトルなどは蓋、ラベル、ボトルに分けての分別で面倒であるため)。 市指定のゴミ袋でなくとも、中身が見えれば収集してくれるような臨機応変な対応をしてみよう。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 常識はずれの若者がいる(何をされるかわからないため注意ができない)。を前提に準備生活保護も支給してもらうこと。を前提に準備生活している予備軍がいる(年金をもらっての生活よりもらった方が特と思っている人が多くいる等)。 高齢者、若者の1人暮らしが増えている。 男女ともに独身者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護の勉強会をする(生活保護が税金であることの認識をしてもらう)。 結婚式場の世話を活用する。 結婚相談所を活用する。 		<ul style="list-style-type: none"> 結婚相談所の開設の支援をする。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月2日(水)

(2)地区名：勿来地区

進行役：大場健史
 補助員：平山真理子
 記録員：松本朋子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の交通手段が少なく、病院への通院、買い物不自由である。視が多い又、歩行者高齢者の運転手に信号無視が多い。 訪問販売を断れずに困っている。加齢で学校の登下校の見守り活動に参加できない(しない)老人が多くなっている。 一人暮らしのひとは、ほとんどが会話不足で誰とも話さず閉じこもっている。 どこに困っている高齢者がいるかわからない。 住居の清掃・雑草・植木の手入れができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 恥ずかしがらずにゴミジャーグを貼って運転する。まずは大人が手本になるという自覚を持つ。 訪問販売はきつぱりと断る。民生委員の立場から高齢者のお付き合いは近隣の高齢者と積極的に自分も増やしてみる。 交通(バス)問題は、個人・地域・行政みんなで対策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り隊に老人が参加できるように機会(交流の場)を作る。 きれいなサロンのような積極的な活用する。 ボランティアや各種団体で独居老人等の実態調査を行う。手入れができない人の分を手伝ってあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 道端にベンチを設置し、老人の交流・子供の見守りの場とする。 子供の見守りに関して公施設を開放する。 道徳、修身などの教科を復活させる。 育児について地区の公民館で相談できるようにする。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の経済的な負担が増えている。 			<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターでも障がい者を採用する。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 中高生が交通ルールを守らない。 不審者と思われるので、子供に声をかけられない。 子育て世代へ情報を発信する方法がない。 世代間交流の場がなく、子育て世代が孤立している。 車中での喫煙、挨拶ができない等、子供のしつけができない。 家庭での教育力が低下している。 少子化で子供らしい遊び方ができない。学校から帰ると家に閉じこもりテレビやゲームに集中している。 	<ul style="list-style-type: none"> 思い切った声をかけてみる。 大人からあいさつする。 子育てについて、福祉関係の講習会等に参加し、情報収集に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動の中で挨拶を習得させる。参加させる。 子育て支援は家庭、地域で行う。 個人の意識を醸成する工夫を行政と協力しながら地域で行う。 地域で「声かけ運動」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 道端にベンチを設置し、老人の交流・子供の見守りの場とする。 子供の見守りに関して公施設を開放する。 道徳、修身などの教科を復活させる。 育児について地区の公民館で相談できるようにする。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 小児科や産婦人科をはじめ医師が不足している。 親が自分の仕事、趣味等を優先させ、子供の食事に無関心である。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供に健康と料理について教える。 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の数が増えるよう行政で対策を考える。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 世代の違う人と交流する場がない。 隣組回覧・ゴミだし・ポラントナイア等に協力しない人が増えている。 アパート住民等が清掃ボランティアに参加しない。 集会・作業への参加ができないので、町内会から退会する高齢者世帯が増えている。 隣組に対する無関心から加入しない者が多い。 自本の生活、行動が主体で、モラルが低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に入っていない人に個人的にゾリントを配ってみた。 	<ul style="list-style-type: none"> 世代を超えた交流の場をつくる。 町内会長等に集会などのおりに福祉のことを理解してもらおうよう講和をしていただく。 運営は思いやりで弱者に優しく接する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政やシルバー人材センターで障害者を雇用する。 自治会(隣組)への加入については行政(市)の指導・介入も必要ではないか。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に避難場所がわからない。 青少年による非行、犯罪が増えている。 		<ul style="list-style-type: none"> 防犯のために必ず町内会・自治会に加入してもらう。 	
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に入っていない人がルールを守らずにゴミを出していくため、クラス等に荒らされ散乱している。 他地区の住民が指定日以外にゴミを放置していく。 車運転者のマナーが悪く空き缶をポイ捨てしていく。 花火大会で多くの人がゴミを捨てていく。 道路にゴミの散乱が目立つ。 高齢者や学生の交通手段であるバスがなくなつた。 ゴミの選別が出来ない人が多い。 指定日以外にゴミをだす人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分達の周りは、自分達の手で美化運動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域でゴミの選別、出し方等について勉強会を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> 条例等を制定し、ゴミのポイ捨ては処罰の対象とする。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化と後継者がいないため農家が崩壊していきいている。 介護や障害者の制度が複雑で分かりづらい。 			<ul style="list-style-type: none"> 国・県が農村・農業の振興に抜本的な対策を行う。 身体障害、介護関係の手続きを簡素化する。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月4日(金)

(2)地区名：常磐地区

進行役：山本博之
 補助員：山崎高代
 記録員：橋本美代子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの高齢者が多い。 高齢者の交通手段の確保が難しい。 高齢者の獲たきりが増加している。 介護者が高齢化している。 高齢者の認知症が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 休日等に声をかけ、定期的に訪問する。 担当支所や杜協・民協に相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組長や区長・民生委員が連携し声かけする。 タクシー等を増やす。 循環タクシー等を準備する。 地域で対象者を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の充実。 市営バスの運行。 高齢介護者には、時間を決めて交替の介護者を派遣する。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者が家族に暴力をふるっている。 歩道が狭くデコボコで障がい者が歩きにくい。 			<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者の施設等入所。 歩道の整備改修を行う。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 地域に子供が少ない(少子化)。 子育てしにくい環境になっている。 子供に声がかげにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつの習慣をつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども見守り隊の積極的活動と、PTAの方の支援をお願いする。 地域で声をかけやすい方法を検討する。 	
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 子供や老人の栄養バランスが悪い。 病院に通う方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 親や家庭内で対処する。 各自で健康管理をする。 栄養指導を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 母親教育で栄養指導をする。 高齢者に対しては、配食サービスのなかで栄養バランスの徹底を図る。 	

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 三世交代系がない。 自治会などコミュニケーションが取れていない。 地域の交流が少ない。 個人のプラマイペートをうわさしている。 福祉募金等は今後集めにくくなるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の人と顔を合わせたら、あいさつをする。 回覧配付等の際に声を掛け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に参加できる交流会、懇親会等を開催する。(歩こう会、お花見会など) 近隣で情報の交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人会への活動費の上乗せ。 医療費負担・税金などの削減。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 押し売りが多い。 若い女性の交通ルール・マナーが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> 不審なセールスには身分証明書の提示をもとめる。 交通ルールの再認識。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い女性ドライバナーに対する積極的な交通安全の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察官の厳しい指導が必要。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 近所の食堂の臭いが気になる。 近所の飼い犬が時間を問わず吠える。また、糞の始末をしない飼い主がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食堂等では換気扇等の整備をする。 飼い主にマナーの遵守を呼びかける。 飼い主は他人の迷惑を考え、責任を持ってペットをしつける。 		
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 近所で物が買えない。 税金・介護保険料が高い。 結婚しない若い人が増えている。 バスによる交通が不便。 民生委員の仕事が多い。 民生委員の人材育成が足りない。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域で商店会の活性化を図る。 若者の出合いの場を作る。 未婚者に対し、地域の人が世話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員に十分な手当を出す。 新任民生児童委員を選任する上での研修を開催する。 委員を選任する場合、事業所等からも推薦を受けける。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月10日(木)

(2)地区名：内郷地区(第1班)

進行役：永山美紀
 補助員：青山久美
 記録員：鈴木美剛

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者が集まる場所がない。 老人クラブが毎年少なくなっている。 高齢により自宅の内外(車取り、窓拭、電球交換等)の仕事が出来ない。 移動の手段が無いため、買い物、通院で困っている。 健康づくりのための教室が遠すぎる、参加人数に制限があるので参加できない。 年金収入のみの為医療費、介護費が大変である。 身体が悪く、重い物がもてない。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組同士で声を掛け合う。 集会の場として自宅を開放して入会する。 老人クラブの活動等を理解して入会する。 隣近所で問題点、日程を決めて手助けする。 買い物等に出るときに、声をかけて買い物の手伝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブの活性化のため、協力員として地域の民生委員に入会してもらう。 若年高齢者が入会して、生きがいにつながる様な楽しい企画・運営をする。 老人クラブに皆で入会するように地域全体で勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が集まれる場所を確保する。(学校の空き教室、保育所等)。 老人クラブの活動費を増やす。 医療費等を安くする。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 近所の障がい者の存在がわからない。 障がい者の方に対する言葉のかけ方等接し方が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の集まる場所、行事等に参加して情報を得る。 当事者、隣近所から情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 当事者、隣近所から情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者に対する接し方等の情報を提供する。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 子供の挨拶の仕方が悪い(ポケットに手を入れたまま挨拶する。) 高校生の生活態度が悪い(コンクリートの上であぐら、食べ歩き、車道を歩く等)。 子供の虐待が多いが、それらの情報が得られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ歩き等を見たとき注意をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り隊であいさつ声かけをする。 子供の泣き声などを聞いたとき、関係機関に通報する。 	
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 高齢で耳が遠くコミュニケーションがうまくとれない。 			

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかな出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 隣近所、地域の繋がりが薄れている。 地域の役員は名ばかりで行動がない。 地域内に集会所がない。 地域の役員の役職名がわからない。 隣組内の連携がなく、隣組の認識がない。(情報が無く、助け合いが出来ない) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の、行事、集まり等に積極的に参加する。 隣組同士で積極的の声をかけあうようにする。 地域の役員を回覧等で報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組などで、花見など皆が集まる機会をつくる。 地域の役員は、地域の実情を把握して、合った行事を行う。 回覧返し、買い物時などで声を掛け合いコミュニケーションを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が集まれる集会所等を確保する。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 大雨が降ると、川の水が家の側溝に逆流する。 夜中のバイクの騒音で夜眠れない。 地区の防災会の役員が高齢になってきている。 			<ul style="list-style-type: none"> 防災用具等の使用方法を指導提供する。 バイク・車等の騒音を規制するための規定をつくる。 行政指導で地域の防災役員推薦を行動できる若い人にする。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの指定日以外に出したり、分別しないで出している。 犬の散歩で糞を片付けないでいく人がいる。 カブ・ピンなどボイ捨てが多い。 排水路がないので雨水が庭に入り、衛生面がよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自ゴミのカレンダーを見て規則を守る。 自らが模範を示すとの意識を持つ。 マナーの悪い人を見かけたら注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集日に互いに注意しあうようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 常時氾濫する川に排水ポンプを設置する。 排水路を整備する。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> DVの問題が多くなっている。 生活保護世帯が多くなっている。 表札の無い家が多くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> DVの情報が入ったら関係機関に連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の役員、隣組長等が表札の設置を地域に勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> DVの被害者に対するシェルター設置について検討する。 生活保護の支給対象基準について中身をよく検討する。 行政で表札の設置について検討する。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月10日(木)

(2)地区名：内郷地区(第2班)

進行役：工藤 慎也
 補助員：佐藤 修
 記録員：齊藤 美鈴

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者宅の生活環境が不便。(座の草刈ができない、食事のしたくが大変、買い物に行けない等) 一人暮らしの高齢者が増え、見守りの声かけが大変。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員に相談する。 見かねた人が手伝う。 声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で草刈り、清掃等を手伝う。カシ 新聞、牛乳、郵便等の配達員に協力してもらい見守り、声かけを行う。 	
2 障がい者				
3 子ども(学校)				
4 健康				
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板が玄関先に懸って置かれてきていることが多く、ご近所の関係が希薄になってきているようだ。 単身者世帯の中には、隣組活動に参加しなかったり、訪問、声掛けしても返事をしない人がいて、安否確認がしづらい。 自分勝手な人が多く、隣組の責任をはたさない。(隣組長の順番がきてもやらない等) 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板を持っていったときには声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組の会議で話し合う。 単身者世帯の安否確認は民生委員にお願いする。 みんなで話し合い隣組のルールを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組意識(向う三軒両隣)を持つようPRしてもらう。 市職員が訪問して安否確認する。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 空き家がそのまま放置されておおり、庭の草木がすごいので火事になったらどうしようかと近所で不安に思っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 隣組で解決策を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の管理を行政が行う。 空き家の利用を図る。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 他地区の人が、車で来て勝手に隣組の集積所にごみを捨てていく。等の理由で収集されなかつた場合は、持ち主がわからないためそのまま残ってしまう。) <ul style="list-style-type: none"> 違法駐車で交通が妨げられ、事故等のトラブルが起きる可能性がある。等、ゴミの出し方が守られていない。 ゴミの分別がされていない等、ゴミの出し方が守られていない。 防鳥ネットを用意してあつてもかぶせない人がいて、集積所の使用が乱雑になつていゝ。 車の中から、火のついたままのタバコやタバコの吸殻を捨てる人がいて火事にならないか不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ収集した後に掃除をする。 法令を遵守し、違法駐車をしない。 ルールを守つてゴミ出しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で清掃活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察が違法駐車取締りを強化する。 ゴミネットを全地区に配布してもらう。 ゴミ分別等のモラルを守るように指導してほしい。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> バスが少なくなつて、交通が不便になつてしまつた。 車を運転しながら携帯電話で通話している人が多く危険。 	<ul style="list-style-type: none"> 法令を遵守し、運転中に携帯電話を使用しない。 		<ul style="list-style-type: none"> バス会社へ補助金を出すなどして、バスの本数を増やしてもらう。 警察にお願いして注意してもらう。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

進行役：白土 文章

補助員：山廻邊 直人

記録員：草野 淳

(1)開催日：平成18年7月31日(月)

(2)地区名：四倉地区

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしから出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし・高齢者世帯の実態把握ができていない。(個人情報保護の問題) ひとり暮らし高齢者等の社会参加ができていない。 近所付き合い合いが希薄になってきている。 高齢者夫婦のDVが起きている。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問活動(声かけ)をする。 既存のサークル(高齢者クラブ)などの加入を勧める。 DVについては、気がついたら行政や関係機関に相談・情報提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣で協力しあい見守り活動をする。 魅力あるサークル(高齢者クラブ等)を運営していく。 「高齢者クラブ」という名前を変えてイメージを変える。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域又は関係機関団体等へ高齢者世帯の情報を提供する。 既存のサークル(高齢者クラブ)への支援体制の強化。 関係団体との連携強化。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者を特別視している。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰にでも同じ気持ちで接する心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 会合等において障がい者への理解・関心を高めるための講話等を開催する。 障がい者施設との交流会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回程度障がいを持っていての方との懇親会を開催する。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の変化(共働きの影響により子ども会の役員のなり手がいない)に伴い子ども会への加入が減少している。 他人と話しができない子が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 共働きの家庭には役員免除等の協力的な思いやりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の役員の日会を組織して、包括的に支援体制の強化をする。 子ども会の発展には、地域ごとの協力が不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの社会性を育むような教育を展開する。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 食事に関心がない人(特に高齢者や若い母親)が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 既製品ばかりでなく自分で調理することとを心がける。 地域の料理教室等の情報を提供する。 配食サービス等の情報を提供する。 行政(保健師等)に勉強会の開催を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催している料理教室の充実 行政(保健師等)と連携し勉強会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に健康食等に関する講習会を開催する。 広報等による情報提供をする。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
5 自治会、 町内会、 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 近所や隣組という単位での関係も希薄になり機能しなくなっている。(葬祭場でのお葬式が増えたことも要因のひとつと考えられる) 地域での共同作業が難しくなってきた。 行政区としての組織が機能していない。 隣組に入らない人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> お互い声を掛け合う。に参加する。 地域の行事に積極的に参加する。 回覧板等を良く見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組単位等で様々な行事を開催する。 地域の課題解決のための懇談会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの指導が必要。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 隣家の情報が少なく災害時に不安。ず不安。 災害時にどうすればよいのかわからず不安。 自治消防団員が不足している。 一戸一灯運動に賛同してもらえない。 アパート等では住人が避難したかどうかの情報をつかみにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時を想定して隣近所でのお互いに声を掛け合う。 新聞・テレビ等から情報を収集。 消防団員の参加を呼びかける。 玄関に「避難した」という名札を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組単位で災害時の対応について会合を持つ。 自治消防団の〇日会を発足させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報による避難場所等の情報を発信。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 地区外の人がゴミを捨てていく。 ゴミ出しのマナーが悪い。 自転車等の不法投棄がある。 家庭から発生するゴミの量が収集日と合致しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミをできるだけ出さないう心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣で協力し合い監視する。 監視ボランティア等を募る。 ゴミ袋に名前等を記入する。 隣組単位でゴミ出しに関する勉強会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別等について説明会を開催。 不法投棄物は行政で処分する。 ゴミの収集日の回数増を検討。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> いわき市民憲章はとても良いことを謳っているが、それを理解していない人が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> いわき市民憲章を念頭に生活するよう心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 会合等で必ず発声するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報による周知を図る。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月4日(金)

(2)地区名：遠野地区

進行役：永山美紀
 補助員：渡邊修
 記録員：菅本仁美

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 若い人達が高齢者に対し体力の低下等理解していない。 身体の不自由なひとり暮らしが増えていて外出(買い物・通院)が困難、火の始末に不安がある。ゴミ集積所が遠く困っている。 福祉・介護制度やその相談窓口がどこかわからない。 老人会の催しに男性の出席が少ない。 医療費がかかりすぎて負担できない高齢者がいる。 認知症の高齢者が「物がなくなつた」等訴えるなど生活に支障が出ている。 バス通行回数が少ない、通院・買い物に不便。 	<ul style="list-style-type: none"> 話しをよく聞いて相談相手になる。 声かけやお手伝いできることはしてあげる。 回覧・広報に関心を持つ、民生委員に連絡する。 男性高齢者に老人会の催し等への出席を促す。催し開場まで送迎する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の見守りと情報交換をする。 催し等に出席するよう誘い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧・広報で情報提供を行う。 認知症高齢者には地域包括支援センターが訪問する。 生活バス路線の確保。
2 障がい者				
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 少子化で地区の体育祭に出る子どもが少ない。 あいさつが出来ない子供が増えている。 子どもが集まる「公園」がない。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは家庭でしっかりと教える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが少なくても出来る種目を考える。 各行政区と調整して子どもと大人が一緒に体育祭が出来るよう編成して行う。 大人から積極的にあいさつする。 耕作放棄地を提供し、花壇など地域ぐるみで整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公園」の設置。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 肥満の子どもが増えている。 保健師が支所に駐在していないので、老人の健康管理等相談できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭で食生活を直す。 きちんとした食習慣を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽に参加出来る講習会等を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧・広報で情報提供を行う。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にししか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 近所に大声で怒鳴る人がいて迷惑している。 集会所(冷水)防犯灯がなくて暗くて危険。 		<ul style="list-style-type: none"> 何が原因なのか皆で注視する事から始める。 防犯灯設置の申請をする。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども見守り隊」があるのに、協力してくれない人がいる。 日中不在宅が多くて他地域からの不審者も多い。 夜間、車やオートバイの騒音で迷惑している。 	<ul style="list-style-type: none"> 留守宅に注意を払う。 警察に連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日が無理ならば、当番制にする 留守にするときは隣に声をかけるなど、隣近所協力し合う。 地域で協力して追放運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 他地域の「子ども見守り隊」の情報提供。 見回り強化。 取締りの強化。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活汚水で河川が汚れ悪臭もある。 河川敷などに空き缶のポイ捨てがある。 ゴミの分別が出来ない人がいる。 他地域の人が勝手にゴミを置いてしまう。 廃乾電池が収集されないときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活汚水を最小限にするよう呼びかける。 ゴミのポイ捨てはしない。 	<ul style="list-style-type: none"> 川をきれいにする運動をする。 協力し合って河川敷の草刈・ゴミ拾いをする。 ゴミ分別の勉強会をする。 看板などを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政からもチラシなどで呼びかけてもらう。 日が決まっているので、回収を怠らないよう回収業者を指導する。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 農協出張所の廃止、郵便局の統合で金融機関がなくなってしまう不便である。 生活保護の手続きの祭、役所の担当者が不親切だった。 市議会議員の数が多すぎる。 			<ul style="list-style-type: none"> 金融機関存続の要請。戸別訪問や集金業務の対応。 行政の親切的窓口対応と連携強化。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月3日(木)

(2)地区名：小川地区(第1班)

進行役：鈴木 文雄
 補助員：齊藤 美鈴
 記録員：佐藤くみ子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・通院等、高齢者の交通手段が足りなくて不便である。もりがちな男性の一人暮らしの方と、なかなか交流できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ方面に行くときは車の相乗り及び声をかけて乗せてあげる。声をかけて共通の趣味が持てるよう、声をかけてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シヨツピングカーなど、高齢者の希望を聞き自宅まで届けるよう地域の商店街の方にお願いしてみる。 ・地区の行事等に参加を呼びかける。 ・民生児童委員等の立場の人に見回りをしてもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が女性であった場合、それに準ずる立場の人を男性で任命できるようにする。
2 障がい者				
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの遊ぶグラウンド等がない。 ・子どもさんに会うといつもあいさつをしてくれ、非常に感じがよい。これからも続けてもらいたいのでほめる機会が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに負けず、いい挨拶をする。たまた「よくできました」シールを貼り、もらった人をほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区老人会等でゲームボール場が整備されているので、子供会で利用できるようにする。 	
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動				
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 道路が狭く、消防車や救急車の入るスペースがない 			
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 歩道をふさぐように車を駐車していて、歩道を歩く人の妨げになっている。 近所の犬の鳴き声があるさくて迷惑である。 道路沿いに不法投棄(タイヤなど)がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察署にお願いして巡回してもらおう。 市の「飼い犬のしつけ方教室」という事業を紹介する。 家庭の「しつけ」の中で、ゴミ箱以外にゴミを捨てないよう教育する。 不法投棄を見つけたら、ナンパバーを記録して警察にこっそり通報する。 	<ul style="list-style-type: none"> 車の進入口に障害物を置いて、進入できないようにする。(通行の妨げにはならないように)。 (通行の妨げにはならないように文書等で注意する。日常的であれば、駐在所へ連絡する。 町全体でゴミ拾いに取り組む。 ゴミ拾い登山等の実施。 ゴミを捨てずにきれいな町にしようとして地域全体で伝えていく。 	
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 子ども(成人)が働かず、親に寄生して生活している。(田中何をしているのかわからない) まちづくり整備が遅れているため、交通の便が悪い。(どこへ行くにも不便) 	<ul style="list-style-type: none"> 警察署にお願いして巡回してもらおう。 共通の趣味が持てるよう、声をかけてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の意向をまとめて、再開発の提言をする 	

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月3日(木)

(2)地区名：小川地区(第2班)

進行役：大谷 奈美
 補助員：湯川 香麦
 記録員：坂本 智代子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかならないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯で病気になるたとき若い人がいないから心配。は女性の様に隣近のお付き合いがないので心配。 ・高齢者が多くなると、グループ組織の維持が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいの為月1回サロンに参加している。 ・病気になるために毎日散歩をする。 ・老人会に入会しふれあいと健康を第一にする。 ・男性高齢者の趣味を生かした仲間つくり。 ・自主的にグループ活動に参加する。 ・隣近所の見守り声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいの為月1回サロンを開催する。 ・高齢世帯で病気になる時など隣近所の付き合いを密にする。 ・ポラントアをしてみる。(野菜の作り方など) ・グループを組織し週1回以上活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報システムの設置。 ・生きがい事業を各地区に増やす。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人がはいかいて歩き困っている。 ・足が悪いので小川公民館2階へいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人と会話をする。 ・認知症の人を訪ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会等を開催し、地域の人にも認知症に関する知識を身につける。 ・認知症の人を仲間に誘い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防の勉強会を開催。 ・小川公民館へエレベーターをつける。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の通学路が整備不備で心配。 ・子ども達の通学路には商店が少なく人の目もないので心配。 ・登下校の時スクールバスがないので心配。 ・子供だけの外遊びや登下校が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買物は子ども達の休日を利用する。 ・隣近所の見守り・声かけを行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動をしている。 ・子ども会では朝交替で見守りしている。 ・小川地区では子どもの見守り活動を実施。(各種団体で協力 約70名老人クラブなど) ・交通安全協会にお願いして協力してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路U字構まで石が並べてあるので整備する。 ・スクールバスを運行。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の会場が高齢者には遠くて困る。 ・高齢者が医者に行くのにバスが少なく不便。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に行くのに人に頼らずでできるだけ自分の足で行くように心がける。 ・声かけて隣近所の人に送迎をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎バスの運行を医療機関に依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の会場を増やす。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店が店を開けて少なくさびしい。 ・ 近所付き合いがなく町内会に入らない人がいる。 ・ 全ての人達が娯楽、趣味などを生かせる施設がほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝市等開催のPRをする。 ・ 地域振興は、月1回駅前。 ・ JA婦人部は毎週水曜日農協。 ・ 梨原地区は毎週日曜日。 ・ 梨収穫祭を再開してほしい。 ・ イカダ夕下りの継続。 ・ 隣組に加入することを義務付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富岡町のマナビームの森のような施設を建てる。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内に防犯灯の設置がなく暗くて夜は危ない。 ・ 夏井川の堤防が整備されていないので、大雨のとき水害のおそれがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間歩行するときは、反射材などを付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯を増やす。 ・ 夏井川の堤防を完全整備。 ・ 消防署に消火器などの各種講習会を開催。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捨てネコが繁殖して家の中まで入って困る。 ・ 犬のフンの始末をしていない飼い主がいる。 ・ 地区外の人がゴミを置いて行く。 ・ ゴミ出しのマナーが悪い人がいる。 ・ JR敷地の草刈りがされてないので困っている。 ・ 上下水道が整備されていないので生活排水がきかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネコにえさを与えない。 ・ ゴミ出し・ペットマナーの決まりを呼びかける。 ・ ペットマナーの決まりを呼びかける。 ・ 生活排水環境について家庭内で話し合います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの出し方マナーを守る呼びかけを行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの出し方マナーを守る指導の回覧。 ・ 野良ネコは苦情を聞き入れて処分する。 ・ 犬のフン条例の制定。 ・ 学校でゴミのリサイクルについての勉強会を開催。 ・ JRの草刈りは行政からJRに依頼。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いの場がなく独身者が多い。 ・ 若者が少ない。 ・ 若い人が少ないから子どもも少ない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰でも気軽に参加できるような魅力ある行事を計画する。 ・ 結婚相談所の開設。 	

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月10日(木)

(2)地区名：好間地区

進行役：大谷 奈美
 補助員：國井 久美子
 記録員：佐藤 裕之

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者の方が足が不自由でゴミ出しに困っている。 一人暮らし高齢者の方が他の人を家に入れな い。暮らし高齢者の方が救急車をタクシー代わりに使っている。 足の筋力が低下して転倒する高齢者が多い。 回覧板を隣の家に持っていけない一人暮らしの方がいる。 男性の一人暮らし高齢者は食事や掃除に困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミを庭先まで出しておく。であれば、家の外に出て話をする。ものであると救急車は緊急な時に使うものではないと認識してもらおう。 高齢者も自分でできることは自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組単位でゴミ出しの面倒を見る。ただし、ゴミを庭先まで出してもらう等高齢者自身にも最低限の負担をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> 救急車を有料化にする。
2 障がい者				
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 児童の家を家庭訪問しても居留守を使われてしまう。 あいさつや声かけしても、ふざけた答えが返ってきたり、無視されたりする。 公園で遊んでいる子どもが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤め、仕事が終わった頃に再度訪問をする。 学校とよく連絡を取り、学校から児童に話してもらおう。 各家庭で子どものしつけをきちんとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会単位で遊ぶよう子どもが誘い合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員・主任児童委員に訪問を頼む。それでもダメなら児童相談所の担当者に頼む。 広報や回覧を活用して公園(遊び場)などの宣伝する。
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 最近できた公園がうまく管理されていない。(花壇には何も植えておらず、草が伸び放題である。) 隣近所のコミュニケーションがうまくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板はただ郵便受けに入れるのではなく、きちんと手渡すようにする。近所地区の行事等に積極的に参加し、近所とのつながりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の管理は、行政に任せると協力して行う。 自治会、町内会で協力して行う。 隣組の総会等で「回覧板一声運動」を呼びかけてはどうか。 地区の総会や行事にお互いに声をかけあって参加を呼びかけ、隣近所とのつながりを深める。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の無灯火運転が多くて危険で困る。 歩行者が携帯電話をしたり横並びをしていて、交通事故の危険性や他人の迷惑である。 道路整備(通学路の園道でガードレールがない等)が不十分である。 緊急時の避難場所がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 注意をする大人が少ないが、思い切った悪いことは注意する。 その場で注意すると良いが、何をされるか怖いので学校に話をして指導してもらおう。 		<ul style="list-style-type: none"> 避難場所の明示をはっきりしてもらいたい。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 犬の散歩をする方のマナーが悪い。(フンの後始末をしない。) 釣り人のマナーが悪い。(ゴミの投げ捨て) ゴミを出す方のマナーが悪い。(ゴミ分別、収集日を守らない。) 他地区の人がゴミを置いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 釣りの責任者に話し、注意を促してもらう。(情報提供) 	<ul style="list-style-type: none"> マナーの徹底について、回覧板で何度でも注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 車で通ってゴミを捨てていく人が多いので、車の通りからはずれたところに集積場所を移す。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 捨て猫が多く、フン・尿に困る。 	<ul style="list-style-type: none"> 飼い主が責任を持って捨てないようにする。 子どもを産んで増えると捨てる要因になるので、避妊手術をする等の対策をする。 捨て猫に餌を与えない。 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板で何度でも注意する。 	

いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月10日(木)
 (2)地区名：三和地区

進行役：佐藤くみ子
 補助員：庄司 貴浩
 記録員：松崎 裕子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まり、楽しめる場所が少ない。 ・独居高齢者の急な病気等、緊急時の対応が難しい。 ・独居高齢者の防犯防災(特に火災)について心配。 ・高齢者(特に独居)の交通手段が足りなくて、通院、買物に行くのが大変だ。 ・高齢者が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけをする。 ・個人の家を開放して、集まれる場所を作る。 ・隣近所や友人と、日頃から顔なじみになっておく。(困った時にお願しいしやすい関係を築く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の人達で、見守る組織作りをする。(見守りネットワークづくり) ・地域の実態を把握して、見守り、声かけを行う。 ・緊急時等、独居高齢者と連絡をとれる体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークづくりの支援。 ・独居高齢者等のリストを開示する。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所がどこにあるのか、わからない人がいる。 ・避難する場合等、付き添ってくれる人がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に、連絡を入れてみる。(声かけ、見守りを行う。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態を把握して、見守り、声かけを行う。 	
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の対話が少ない。 ・子供のしつけがなっていない。 ・子供の食生活がなっていない。(コンビニ弁当で、好きな物しか食べない。) ・子供が少なくなっているため、子ども会活動やクラフ活動ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供のしつけは、各家庭で行う。 ・子供に手作りの食事を作り、楽しい食卓になるように心がける。 ・親が子供に合わせて時間を作り、遊んでやる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が、地域の子供・児童の見守りを行う。 ・「団らん夕食デー」を決めて、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ等の団体へ、防犯、見守りを依頼する。 ・若い世代の人達が戻ってくるように、特安(家賃1万円)住宅を建設する。
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関がない。 ・医療機関が遠くて、すぐにかかれぬ。 ・健康診断を受ける人が少なくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診を受けるように、声をかける。 ・積極的に、健診を受ける。 ・自分自身の健康は自分が守るとの意識を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各支所に、保健師を配置する。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 子供を守る、地域での協力者が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ポランティアをした後の満足感を説明し、協力者を募る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体組織が協力する。 	
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 単身赴任及び本署勤務があるため、駐在さんのいない時間が多い。 			<ul style="list-style-type: none"> 単身者でない人に赴任してもらうよう、働きかける。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別ができていないため、集積所に残されている。 犬、猫の放し飼いが多く、犬の散歩時に、フンの始末をしない飼い主がいる。 釣り人のマナーが悪い。(空き缶のポイ捨て・駐車) 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミカレンダールの説明をよく理解し、カレンダール通りに出す。 独居高齢者等のゴミの分別、ゴミ出しの協力をする。 ゴミ分別用のポスターを家に貼っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧をまわし、マナーを守ってもらう。 地区保健委員が、集積所の見回りをする。 地区保健委員が、分別等について指導する。 立看板を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 立看板を設置する。 犬を飼っている家に、『放し飼いしません』宣言シールを提示させる。 犬、猫の散歩場所を指定し、マナーを守るように規定する。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 遊び場の提供をしたいが、ゴミ捨ての問題が心配。 長男が街に出て、戻る気がないので心配。(世継ぎの問題) 	<ul style="list-style-type: none"> 年を重ねて、三和の良さがわかった自分の体験を話し、心静かに説得する。 花嫁列衆として、一人一組世話をする運動をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 都会からUターンできるように、働く場所を提供する。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月2日(水)

(2)地区名：田人地区

進行役：山本博之
 補助員：竹原さおり
 記録員：渡辺礼子

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 移動手段がないのでなかなか外出できない。 地区内で買い物や通院するための足がない。 会場までの交通手段がなく、高齢者向けの行事に集まりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物等は子どもに協力してもらおう。 お茶飲みなどをして交流を深める。 地区の行事のとき送迎ボランティアをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区内で担当の組織をつくり順番でお世話をす。 何人かの力をかりて送迎ボランティアをすれば助かる。 お隣誘い合い車のある人に協力してもらおう。 子どもと高齢者のふれあいの場(機会)をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 田人地区の小学校を1つにし、ワンボックスクーラー等「スクールバス」を持つ。 そのスクールバスの日中の運用で地区内を循環する。 行政で役割分担を決め各種団体でネットワークづくり。
2 障がい者				
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場が少ない。 遊ぶ場所がありながら、自然を相手に遊べない。 少子化、過疎化により子どもが少なく「ジュニア教室」への参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 親が自然の中で遊びの楽しさを教える。 	<ul style="list-style-type: none"> 部落単位で親子教室を開催。 高齢者と子どものふれあいの場の確保。 夏休み等に都会の子ども達を自然にふれさせ、学ぶ機会を持たせ少子化対策の一助とする。 	
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしかな出来ないこと(公助)
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域の決まりを守らない。 一人暮らし老人が多くなり共同での行事ができない。 地域行事での若者の関わりが少ない。 近所との交流が少ない。 若者が少なくなり、祭りごとができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板を廻すのを年寄りに任せず若い世代が次の家へ持っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化、自然の大切さ、すばらしさを再認識しあう機会をつくる。 地区外の田人出身の人たちにも行事への協力や参加をお願いする。 地域で魅力ある行事・事業を企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の情報の提供をする。
6 防災・防犯				
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 水を汲むところにゴミが捨てられる。 不法投棄が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミは「捨てない」ことと「捨う」こと。ゴミの持ち帰りを心がけ家庭内で話題にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に地域で清掃活動をする。 不法投棄にはインパクトのある立て看板(コンクールで募集)。 不法投棄監視員による見回りを強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の大切さを広報する。 立て看板の設置。
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> 高齢な親と独身の子供の同居が目立つ。 特に長男のお嫁さん不足。 バスがなくなつて地域住民が困っている。 携帯電話が圏外で仕事などの緊急時に連絡が取れない。 人口減少が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 知り合いに現状を話してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話が使えるように地域から業者に要望していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政がお見合いの場を設ける。

■いわき市地域福祉計画「地域福祉懇談会」結果報告書

(1)開催日：平成18年8月3日(木)

(2)地区名：川前地区

進行役： 白土文章
 補助員： 緑川しのぶ
 記録員： 酒井理夫

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 日中地区内が高齢者のみになるので、高齢者の日常生活全てに不安が有る。 近くに仕事がないから後継者が家にいない。高齢者だけの世帯が多い。 面倒を見てくれる人が居ない一人暮らし高齢者の場合、孤独死の問題もある。 交通機関がない。サークルが少ない。高齢者の送迎がない。 病院が遠い。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所であるべく1日1回声をかける。 毎日散歩して隣近所に自分から声をかける。 声かけをよく行う。 老人クラブに参加する。 他人の余計な心配をしない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域老人クラブ活動の中から情報交換を密にし多くしていければ。 日中、高齢者が集まれる場を確保する。毎日、隣組で朝の挨拶をする。(全員集まって) 高齢者(一人暮らし)に声かけ運動をする。 高齢者のグループづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ育成のため、補助金を出す。
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 本年2月に障害保護世帯になったが、虫歯等の治療も出来ないでいた生徒がいる。 		<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の活動を活発にする。 	
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが、小学生になるが、共働きなので送迎ができず心配。 学校が遠い、交通の便が悪いため学校への送迎で仕事ができない。 川前町は、若い人が居ない(川前に帰って来ない)。学校の生徒は、小学生12人、中学生15人である。(川前小、中学校) 地域で子どもが生まれにくい。(親となる人が居ない) 住所は桶売でも、学区が小白井になっているため、遠距離補助も出ない。 子どもが少くない=生徒数が減少 道路事情はよくないが、最近では観光地化され交通量も多くなっているので登下校の安全も心配である。又、不審者も見受けられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 嫁さん来て“御指南様(仲人)”募集 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの運行。 学校を統合してスクールバスの完備。 全寮制の学校(特に中学校)の導入。

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
4 健康	<ul style="list-style-type: none"> 田舎での診療は、儲からないから医師が少ない。 怪我等の時、病院（9月に川前分遣所に救急車が配備されるそうですが）への輸送手段がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気にならないように健康に気をつける。 基本検診を受ける。 		<ul style="list-style-type: none"> 医療機関を充実する。
5 自治会、町内会、地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 地区内に働く場所がない又、通勤が大変であるため、後継者が、町に出て生活している。 若い人の就職先がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事をたくさん作る。 川前の良さをもってPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の場の確保。 企業、働き場所の確保。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の不足と日中留守(町内にいない)という事で防災面が非常に弱体化している。 一人暮らし高齢者が多く、災害時きちんと避難できるか疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> あまり人ばかり頼らずに自分でできることをする。例えば、ガス漏れ警報器をつけるとか出かける時の安全確認など、火を出さない工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災無線の設置。 防災無線があれば安心。 災害情報を学校にも繋げる。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 決められた日にゴミを出さない。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集カレンダー(日、分別)を守って出す。 個人で決められた日を守る。 一人ひとりが決められた日に出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 各戸配布で守られてない地区に、自分でチラシを作って配る。 	
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> バス等も無く遠距離登校(保護者送迎)。公共交通(バス等)が無いため交通弱者の足がない。 乗る人がいないため電車の本数が少ない。 県道小野・四倉線の改良工事の推進、特に冬期間の交通事故防止のためにも早期に実現。(川前地区・小川地区と共同歩調とれば早く実現できると思います。) 県道神俣停車場・川前線(橋亮、小白井間)は、非常に狭く急勾配であり、冬期間の雪と凍結には特に注意しなければならぬ。 高齢者ばかりになり田畑の維持管理が困難になりつつある。後継者も無く第三者にお任せするようになる。 農地が減っている(荒れている)。担い手が少ない(いない)。 	<ul style="list-style-type: none"> いわき駅付近に行くには、JR磐越東線を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手は、“結(努力を出し合うこと)”の復活で補う。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通、道路の整備。 公共交通システムを確立する。 通学通院のためのバスの確保。 いわき市外環状線の整備。 猪、猿による農作物の被害で、農家が困っている。ハンターも高齢化で結果が出ない。市としての対策... 農林業に対する施策を変える。⇒生活できる農林業

■いわき市地域福祉計画「地区懇談会」結果報告書

進行役：鈴木雅輝

補助員：平山美香

記録員：猪野京子

(1)開催日：平成18年7月31日(月)

(2)地区名：久之浜大久地区

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
1 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居老人や高齢者世帯が増えている。より締められたりしているために安否確認ができない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣近所の見守り、声かけを行う。 	
2 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者を持つ家族に、人権擁護に対する勉強の場がない。 ・ 障がい者を持つことを利用して押し売り等を目的に地域に入ろうとしている人達がいる。 ・ 成人に達した知的障がい者を受入れる施設等がない。(親の死後、生活が心配) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者を持つ家族の会等や市の広報紙などで人権擁護に対する情報を得る。 ・ 紛らわしいものに対してはキツパリ断る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長会で悪質な押し売り情報として取り上げ地区内に周知するなど、地域一丸となって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権擁護の学習会を開催し、開催に際しては市の広報紙等で情報を提供する。 ・ 悪質なものについては情報提供を行い、注意を促す。
3 子ども(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子供達や公共の施設を地域の「宝」という意識が低く、中学校の通学路の除草をすすめる人がいない。 ・ 産科の病院がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子供達は地域の「宝」という意識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリーン作戦のときに各地区より地区民が出て除草する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関(特に産科医院)の確保に努める。
4 健康				

分野	地域での生活課題	課題解決の方策等		
		個人で出来ること(自助)	地域で出来ること(共助)	行政にしか出来ないこと(公助)
5 自治会、 町内会、 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に入る人が少なく、地域の連帯感が希薄になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に入るよう根気よく働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組単位で魅力ある行事やコミュニケーションの場を設ける。ぐるみで行なう。 高齢者等の見守りを地域でやる。 町内会が地域居住者にとって必要な組織であることを周知する。 隣組、町内会の役員が一体となって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に加入しない人には広報紙等を配布しない。
6 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 駐在所の立地場所が悪いために警察官とのつながりが少ない。 夏季の海岸での夜間の花火が迷惑であり、また事件等につながらないか心配。 大雨のとき、道路の排水が悪い。(水溜りができる) 		<ul style="list-style-type: none"> 海岸で花火のできる時間を地域で取り決め、取り締まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 立地を考えた駐在所の設置。 駐在員の適材適所(地域のことをよく理解した人材)の配置。 警察官が夜間海岸を見回る。
7 環境	<ul style="list-style-type: none"> 家庭のゴミや粗大ゴミの不法投棄がある。 犬のフン始末をきちんとしない飼い主がいる。 工場からの汚水やゴミの投げ捨て等で河川や海岸が汚れている。 ゴミの集積所はクラスなど荒されるため、確保が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ちているゴミは拾うようにする。 クラス等の被害にあわないようにゴミの出し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ等のないきれいな地域を作ることにより、ゴミのポイ捨ての出来ない(しにくい)環境をつくる。(雑草とゴミの山だつたところを花壇にしたら効果があった) 隣組でゴミ集積ボックスを設置する。 自分の家の前の道路は自分できれいにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄者に対して厳重に処置する。 犬の予防接種のときに飼い主のフンについて周知する。
8 その他				